

新型コロナウイルス対応
サテライトオフィス

次世代オフィスのプロトタイプを公開、導入サポートを開始

物販店舗や空港など分野を超え幅広く空間デザインを行う建築設計事務所ANALOG株式会社（本社：横浜市中区 代表取締役：池田 暢一郎）は、ウィズコロナからポストコロナへと移行するなかで変容していくオフィス像を占う、デザインのプロトタイプを当社ホームページ及びYouTubeチャンネル上で公開致しました。

〈特設ページ：<https://anlg.co.jp/satellite-office/> YouTube：<https://youtu.be/Ne4QlcZr46A>〉



ウィズコロナでは在宅と本社勤務の2者択一でしたが、ここにきて郊外に住む在宅ワーカーと本社をつなぐ役割を担う**サテライトオフィスに注目が集まっています**。国内企業もサテライトオフィス導入に前向きな姿勢で、10月6日の日経新聞朝刊では**100箇所のサテライトオフィスを導入**する企業が紹介されています



そのような背景を受け、弊社では「**可変**」「**安全**」「**共有**」という**3つのキーワード**のもとにポストコロナ時代にふさわしい**サテライトオフィスのプロトタイプを公開し、導入サポートを開始しました**。時代を先取りするオフィス計画とはどのようなものかを、モデルケースとして作成した3Dパースや動画でご覧になって頂けます。



〈ANALOG 株式会社 一級建築士事務所〉

羽田空港の設計実績がある建築家の池田暢一郎が主宰する建築デザイン事務所。物販店舗から空港まで幅広い分野にデザイン実績を持つ。代表作に銀座伊東屋、青森空港ターミナル、ガリバー安積店など。



■本件に関するお問い合わせ先

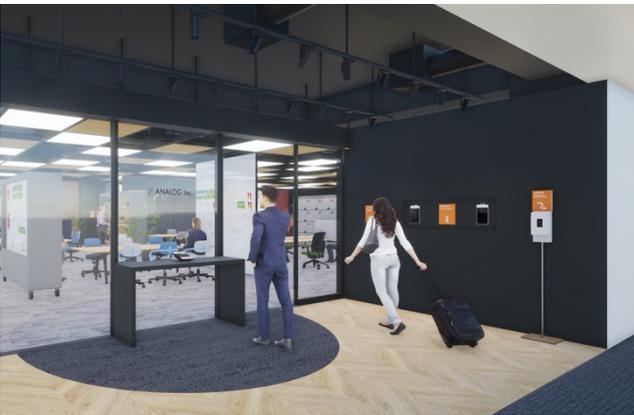
ANALOG 株式会社 (<https://anlg.co.jp/>) 担当：池田、伊藤
TEL：045-228-8964 携帯：090-1768-2651 E-MAIL：yikeda@anlg.co.jp

〈次世代型サテライトオフィスの特徴〉



特徴①**工事不要**でオフィスレイアウトを更新可能なシステム

グリッド状にレイアウトされた移動間仕切りレール、移動型システム什器、吸音効果のあるカーテンにより**オフィスの利用形態が変化してもその都度工事を伴うことなく、自由にプランニング出来るシステム**を採用しています。



特徴②**デザインされた安全対策**で執務環境を豊かに演出

ポストコロナの安全対策は、それらがオフィスの雰囲気や働き方を阻害することなく、空間に溶け込みながら効果を発揮することが望ましいといえます。体温検知器やサニタイザー、サインなどを**空間にフィットするよう適正にデザイン**することで、安心して快適なオフィス空間をつくりだします。



特徴③**協働や共有**を促す場の提案

フリーアドレス席に転用可能なWEB会議スペース、ひな壇状のプレゼンスペース、ローソファによるラウンジスペースなど、**自然なコミュニケーションを誘発するゾーン**を設け、コミュニケーションとコラボレーションを通して経験と知識を共有し、学び合う場所をつくりだします。

〈サテライトオフィスとは〉

企業や団体の本社・本拠から離れた場所に設置されたオフィスのことです。本社のサテライト＝衛星のように素材することが名前の由来になっています。ポストコロナにおいては、本社（ハブオフィス）と在宅やシェアオフィスをつなげる「スポーク」としての役割を、サテライトオフィスが担うことが期待されています。